



W コマンド

この章では、コマンド名が W で始まる Cisco Nexus 1000V コマンドについて説明します。

where

Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) の現在のコンテキストを表示するには、**where** コマンドを使用します。

where [detail]

シンタックスの説明

detail (任意) 詳細なコンテキスト情報を表示します。

デフォルト

コンテキスト情報の要約を表示します。

コマンド モード

任意

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、CLI での現在のモードと、そのモードへどのように到達したかを追跡する場合に役立ちます。

例

次に、コンテキスト情報の要約を表示する例を示します。

```
switch(config-if)# where  
?conf; interface Ethernet2/3      admin@switch%default
```

次に、詳細なコンテキスト情報を表示する例を示します。

```
switch(config-if)# where detail
?conf; interface Ethernet2/3      admin@switch%default
mode:                               conf
                                     interface Ethernet2/3
username:                            admin
vdc:                                  switch
routing-context vrf: default
```

write erase

固定メモリ領域内の設定を消去するには、**write erase** コマンドを使用します。

write erase [boot | debug]

シンタックスの説明	boot	(任意) ブート変数と mgmt0 インターフェイスの設定だけを消去します。
	debug	(任意) デバッグ設定だけを消去します。

デフォルト ブート変数、mgmt0 インターフェイス、デバッグの設定を除く、固定メモリ内のすべての設定を消去します。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザの役割 network-admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン 情報が破損しているなどの理由で使用できない場合は、このコマンドを使用して、固定メモリ内のスタートアップ コンフィギュレーションを消去できます。スタートアップ コンフィギュレーションを消去すると、ブート変数、mgmt0 インターフェイス、デバッグの設定を除いて、デバイスが初期状態に戻ります。これらの設定は、**boot** および **debug** オプションを使用して明示的に消去する必要があります。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションを消去する例を示します。

```
switch(config)# write erase
Warning: This command will erase the startup-configuration.
Do you wish to proceed anyway? (y/n) [n] y
```

次に、固定メモリ内のブート変数と mgmt0 インターフェイスの設定を消去する例を示します。

```
switch(config)# write erase boot
```

次に、固定メモリ内のデバッグ設定を消去する例を示します。

```
switch(config)# write erase debug
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
	show running-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

